

ENG カメラ用 & 自立プロンプターキット

TP-650-BRC MARK II



取扱説明書

datavideo
JAPAN
www.datavideo.jp

目次

内容物	2
概要	3
特長	3
取付例	3
HC-600 専用キャリングケース(付属品)	4
特長	4
仕様	4
組立方法(ENG カメラ用)	5
組立方法(自立型用)	8
カメラの露出と 70/30 ガラス	11
70/30 ガラスを清掃する	11
リモコン(『WR-500』ワイヤレス・ワイヤード兼用)の操作方法	12
アプリケーションソフトウェアをダウンロードする	14
App Store SM からアプリケーションソフトウェアをダウンロードする	14
Google Play Stor からアプリケーションソフトウェアをダウンロードする	14
タブレット機器設定	14
アプリケーションソフト dv Prompter の設定	15
デバイス上で作成	15
Web アプリケーション上で作成	16
プレイリスト	19
プレイリストの順番を変更する	19
コントロール	20
本体経由(画面の表示)	20
ウェブインターフェースを介して	20
メニューバー	21
ネットワーク	23
複数のデバイスの同期	24
外部ディスプレイの接続について	25
アジャスタブルタブレットホルダーレール-アイテム B	26
よくある質問	26
サポート窓口	27

内容物

製品には下記の部品が含まれます。いずれかの部品が同梱されていない場合は取扱店まですぐにご連絡下さい。



番号	アイテム	数量
A	プロンプターレール	1
B	スペーサーブロック付きレール	1
C	固定ネジ(アイテム B-A 用 / 27mm)	2
D1	六角レンチ(シルバー / 六角穴付ボルト用)	1
D2	六角レンチ(シルバー/ガラスフレーム用)	1
E	固定ネジ(アイテム F-B 用 / 8mm)	1
F	タブレットアジャストホルダー(ロックレバー付き)	1
G	ガラスフレーム(マジックテープ 4 本付属)	1
H	ガラスフレーム用ねじ(アイテム G-A 用 / 19mm)	2
I	プロンプターフード(布製)	1
J	70/30 ガラス	1
K	フードサポートワイヤ	1
L	カメラ固定用ねじ(短 / 16mm)	2
M	カメラ固定用ねじ(長 / 31mm)	2
N	ライザーブロック(15mm 厚)	1
O	70/30 ガラス、ガラスフレーム用ケース(布製)	1
P	3/8 インチ→1/4 インチ変換アダプタねじ	1
Q	六角穴付ボルト(短 / 16mm)	1
R	六角穴付ボルト(長 / 31mm)	1
S	M4 ネジ(アイテム J 固定用)	2
T	自立式レール	1
U	ガラス固定用 M4 ネジ	2
-	専用キャリングケース(HC-600)	1
-	取扱説明書(本書)	1
-	専用リモコン	1

TP-650-BRC MARK II キットのタブレット用のリモコンは下記の物が同梱されています。

『WR-500』Bluetooth™ ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン(iPad®, Android™ タブレット共用)
(ワイヤード用ケーブル 3m、首掛け用ストラップ)

概要

Datavideo プロンプターキット TP-650 MKII は、カメラがテレプロンプターリグに直接取り付けられている ENG 用カメラ、または自立型カメラで使用することができます。

準備しておいた原稿やキューシートを dv Prompter Plus アプリに簡単にコピー&ペーストし、設定した速度で自動スクロールさせたり、付属のワイヤレスリモコンでユーザーが操作することで、より自然な仕上がりにすることが可能です。また、さまざまな距離から快適に読めるよう、フォント、色、文字サイズを多数用意しました。

特長

- シンプルなソフトウェアと付属のリモコンにより、低予算でもプロの仕事を実現できます。
- 特殊な 70/30 ガラスにより、司会者はカメラを見ながら原稿を読むことができます。
- プロンプターフレームは、標準的な三脚のクイックリリースプレートにしっかりと固定されます。
- プロンプターフレームは、カメラレンズの前にプロンプトを表示できるように設計されています。
- 黒いカメラスヌード/フードは、さまざまなカメラに適応するように調節可能です。
- 特別な工具は必要なく、簡単に組立てることが可能です。
- 調整可能なホルダーにより、タブレットを簡単に据付けることができます。
- 付属のリモコンを操作することで、一人で撮影することが可能です。

取付例

ENG カメラ構成(左)、自立型構成(右)



HC-600 専用キャリングケース(付属品)



HC-600 の中にある緩衝材は取り外しが出来る為、TP-600 に限らず様々な機器のケースとして使用することが可能です。

特長

- ロック付きの為、ケースが容易に開くことはありません。
- 耐衝撃性に優れたヒンジを使用することにより、単体で直立に置くことが可能です。
- 持ち手が中心にあることで、持ちやすさ、丈夫さに優れています。
- 耐衝撃、耐振動、防塵、防錆に優れています。
- 低温環境で使用可能(-25℃まで)
- 湿気を防ぐ密封性
- 圧力放出弁付き
- 積み重ね可能

仕様

- 外形寸法 : 515mm(幅) × 410mm(高さ) × 200mm(奥行)
- 内径寸法 : 481mm(幅) × 352mm(高さ) × 100mm(奥行)
- 蓋内径寸法 : 481 mm(幅) × 352mm(高さ) × 70mm(奥行)
- ケースのみの重量 : 約 4.15 Kg
- ケースとキットを含む総重量 : 約 7.70 Kg

組立方法(ENGカメラ用)

アイテムの名称は P2 の 内容物をご参照ください。



(1) お手持ちの三脚に付属するクイックリリースプレート
をプロンプターレール(アイテム A)のネジ穴に合わせ、クイック
リリースプレートのネジで固定します。

長い溝がカメラの後ろ側で、レール上にある 4 穴がカメラ
のレンズ側になるようにセットします。

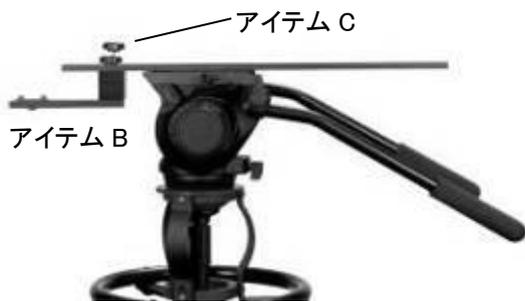
注意)

クイックリリースプレートを通せる 2 本目のネジを別途用意
してください。クイックリリースプレート上でネジを回し、プロ
ンプターレールを固定します。



アイテム A

(2) 三脚のクイックリリースプレートを取付けたプロンプター
レール(アイテム A)を三脚の上にスライドさせて、固定しま
す。



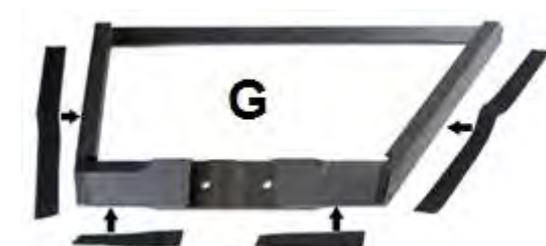
アイテム C

アイテム B

(3) プロンプターレール(アイテム A)の先端から 2 列目の
取付穴にスペーサーブロック付きレール(アイテム B)を下
側から合わせ、上から固定ネジ(アイテム C)を使い固定し
てください。アイテム B の位置調整機構については 8 ペ
ージを参照してください。

注意:

プロンプターレール(アイテム A)にガラスフレームを取り付
けるため、レール先端から 1 列目の取付穴を 2 つ残してお
いてください。



G

(4) ガラスフレーム (アイテム G)の左右エッジに付属の長い
マジックテープ(計 2 枚)を、下側のエッジに付属の短いマジ
ックテープ(計 2 枚)を貼り付けます。

注意)

マジックテープはまっすぐ貼り付けてください。またネジの
上に貼り付けないように気をつけてください。



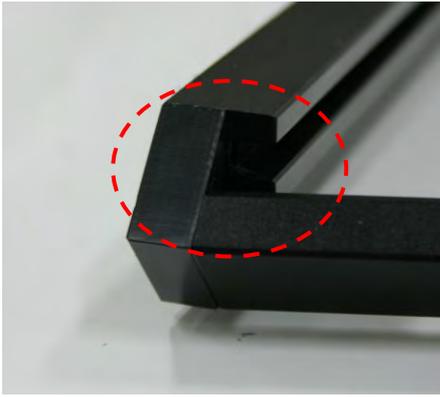
傾き方向

カメラ
取付位置

アイテム G

アイテム B

(5) マジックテープを貼り付けたガラスフレーム (アイテム
G)をプロンプターレール(アイテム A)の上面にスライドさ
せ、レール先端から 1 列目の取付穴に合わせます。
ガラスフレーム (アイテム G)がカメラ位置から反対方向に
傾いていることを確認し、2 本のガラスフレーム用ねじ(アイ
テム H)を使って固定します。



(6) ガラスフレーム (アイテム G) の内側左右にある溝に 70/30 ガラス(アイテム J)をスライドさせて取り付けます。

※ガラスを破損しないようにお取扱には十分注意してください

※ガラス両面の角にそれぞれ赤と緑の丸いシールがあります。赤側をカメラレンズ側に向け、緑側の面にタブレット原稿を映し出します。



(7) ガラスフレーム (アイテム G) の左右上端を M4 ネジ (アイテム U) で留めて、70/30 ガラス(アイテム J)を固定します。

(8) タブレットアジャストホルダー(アイテム F)をスペーサーブロック付きレール(アイテム B)下側のフックに取り付け、固定ネジ (アイテム E)を使い固定します。

* タブレットアジャストホルダーを取り付ける際は樹脂製のボルト受側ナットが破損する恐れがあるため強くねじ込まないでください。



(9) カメラのレンズをできるだけ 70/30 ガラス(アイテム J)の中心に近づけます。

ご使用される三脚のカメラアダプタで既に十分な高さを確保している場合はライザーブロック(アイテム N)を使用しません。(必要に応じてライザーブロックを使用します)

※三脚アダプタ取付写真例



(ライザーブロックなし)

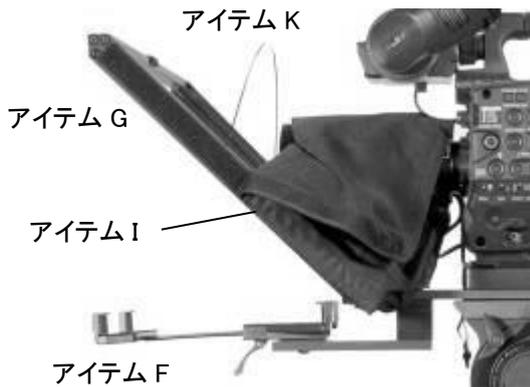
(10) お手持ちの三脚アダプタをカメラ固定用ねじ(アイテム M・L)を使い、プロンプターレール(アイテム A)に取り付けます。

カメラ固定用ねじ・長(アイテム M)はライザーブロック(アイテム N)を使用する場合、カメラ固定用ねじ・短(アイテム L)はライザーブロック(アイテム N)を使用しない場合に使用します。

六角穴付ボルト(アイテム Q・R)は、お手持ちの三脚アダプタとライザーブロック(アイテム N)の両方を三脚に取り付ける必要がある場合にご使用ください。



(11) お手持ちの三脚アダプタに ENG カメラを取り付けます。また、レンズと 70/30 ガラス(アイテム J)の距離が 1~2cm になるようにフレームをスライドさせ、位置を調節します。その際、カメラのレンズと 70/30 ガラス(アイテム J)を傷つけないように注意してください。



(12) フードサポートワイヤ(アイテム K)をガラスフレーム(アイテム G)の左右中央部にある穴に引っ掛けて取り付けます。プロンプターフード(アイテム I)がレンズの前に垂れ下がることを防ぎます。

(13) マジックテープを使い、プロンプターフード(アイテム I)をガラスフレーム(アイテム G)のエッジに取り付けます。



(14) 光を遮断する為にプロンプターフード(アイテム I)でカメラレンズを覆い、留めひもで締めつけます。

(15) お手持ちのタブレットの電源をオンにして、あらかじめ「dv prompter app」をインストールし、アプリを起動します。(詳しくは P11 を参照してください) また、リモコン(WR-500)のセットアップも進めます。(詳しくは P12,P13 を参照してください)



(16) 設定済みのタブレットをタブレットホルダーに取り付け、ホルダーの位置をタブレットのサイズに合わせて調節します。

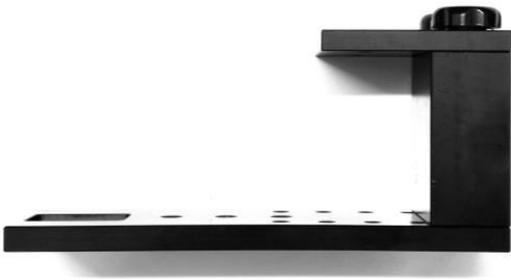
タブレットアジャストホルダー(アイテム F)の裏面にあるレバーでロックします。しっかり固定されていることを確認してください。

また、原稿が表示される向きに気を付けてタブレットを取り付けてください。

(補足 1) リモコンの操作は付属するリモコンタイプに合わせた設定を選択してください。(詳しくは P14 を参照してください)

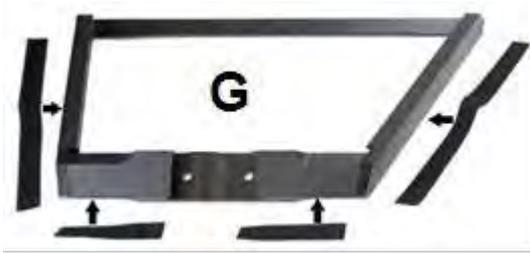
(補足 2) 必要に応じてプロンプターの設定や、カメラの露光時間(P10 参照)を調節してください。

組立方法(自立型用)



(1) 固定ネジ(アイテム C)を使用して、スペーサーブロック付きレール(アイテム B)の下部を、自立式レール(アイテム T)にある逆ネジの穴を使って固定します。

プロンプターレール(アイテム A)にガラスフレームを取り付けるため、レール先端から1列目の取付穴を2つ残しておいてください。



(2) ガラスフレーム(アイテム G)の左右エッジに付属の長いマジックテープ(計2枚)を、下側のエッジに付属の短いマジックテープ(計2枚)を貼り付けます。

注意

マジックテープはまっすぐ貼り付けてください。
またネジの上に貼り付けないように気をつけてください。



(3) マジックテープを貼り付けたガラスフレーム(アイテム G)をプロンプターレール(アイテム A)の上面にスライドさせ、レール先端から1列目の取付穴に合わせます。

ガラスフレーム(アイテム G)がカメラ位置から反対方向に傾いていることを確認し、2本のガラスフレーム用ねじ(アイテム H)を使って固定します。



(4) ガラスフレーム(アイテム G)の内側左右にある溝に70/30ガラス(アイテム J)をスライドさせて取り付けます。

※ガラスを破損しないようにお取扱には十分注意してください
※ガラス両面の角にそれぞれ赤と緑の丸いシールがあります。赤側をカメラレンズ側に向け、緑側の面にタブレット原稿を映し出します。

(5) ガラスフレーム(アイテム G)の左右上端をM4ネジ(アイテム U)で留めて、70/30ガラス(アイテム J)を固定します。



(6) タブレットアジャストホルダー(アイテム F)を、下部のスペーサーブロック付きレール(アイテム B)に取り付けます。アイテム B のマウントフックをアイテム F の底面の穴にはめ込み、アイテム F を B に固定します。



(7) スペンスーブロック付きレール(アイテム B)下部を、3つの 3/8 ネジ穴のいずれかを使って、三脚やライトスタンドに固定することができます。一般的には、中央の 3/8 穴に取り付けるとバランスがとれます。



(8) フードサポートワイヤ(アイテム K)をガラスフレーム(アイテム G)の左右中央部にある穴に引っ掛けて取り付けます。プロンプターフード(アイテム I)がレンズの前に垂れ下がることを防ぎます。

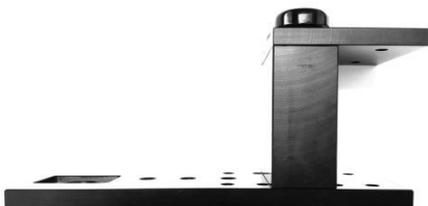


(9) マジックテープを使い、プロンプターフード(アイテム I)をガラスフレーム(アイテム G)のエッジに取り付けます。



(10) 光を遮断する為にプロンプターフード(アイテム I)でカメラレンズを覆い、留めひもで締めつけます。

ヒント: 三脚のサイズやカメラレンズの長さによって、TP-650 MKII に十分に近づくことができない場合、下左の画像のように、アイテム T を逆にすることができます。これは、アイテム B にある皿状の六角ネジ(2 本)を六角レンチ(アイテム D1)で外し、上部を 180 度回転させ取り付けます。また、下右の画像は、TP-650 MKII にアイテム T を逆にした状態で固定したものです。



- (11) お手持ちのタブレットの電源をオンにして、あらかじめ「dv prompter app」をインストールし、アプリを起動します。(P11 参照)
また、リモコン(WR-500)のセットアップも進めます。(P12、P13 参照)
- (12) 設定したタブレットをマウントブラケットに入れ、ブラケットホルダーのサイズを調整させ、固定できているか確認します。その際アイテム F の底面のロックレバーを使用します。
- (13) 必要に応じて、15 インチ液晶コントロールユニットの位置を調整してください。
- (14) 必要に応じて、プロンプターの設定を調整してください。
- (15) 必要に応じて、カメラの露出設定を調整してください。(P10 参照)
- (16) リモコンの操作は付属するリモコンタイプに合わせた設定を選択してください。(P14 参照)

カメラの露出と 70/30 ガラス

カメラを組立てた後、レンズの前の 70/30 ガラスを付けたまま、カメラの設定やホワイト・バランスを調整します。70/30 ガラスには、ND(減光)フィルターのようにカメラの露出を約 1 目盛り変えたような効果があります。カメラの露出やホワイト・バランスの設定については、ご使用になるカメラの取扱説明書をご覧ください。

70/30 ガラスを清掃する



本製品には、70/30 ガラスが 1 枚含まれています。注意してお取扱ください。

輸送や開梱、清掃、製品に 70/30 ガラスを組立てたり、分解したりするときには、破損する危険を回避するために、本取扱説明書にしたがって注意して扱ってください。

ほこりや指紋を取除くために、定期的にガラスを清掃することをお奨めします。清掃することによってガラス越しに撮影したものを録画するときに最高の画質を保証します。

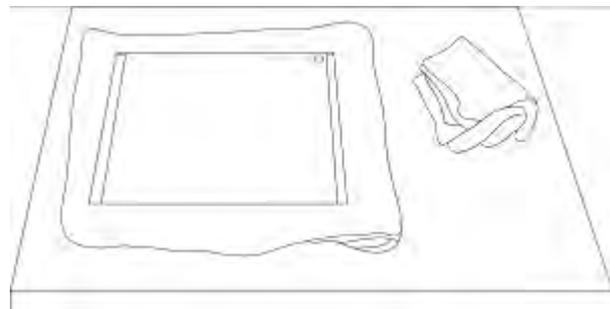
プロンプターフードに取付けた状態で、ガラスを清掃することは、絶対におやめください。

マジックテープを付属の取外しツールを使って、フードからガラスを慎重に取外してください。ガラスを清掃した後、再度、プロンプターフードに取付けてください。ガラスは常に、布で覆われた端を持って慎重に取扱ってください。

ガラスの品質を維持し、清掃時に傷を付けないようにするためには、

- 研磨布やパッドを**決して使用しないこと**。また、研磨剤入りの液体をガラスの上に**決して零さないこと**。
- 清掃には、酸性、また酢を含んだ液体を**決して使用しないこと**。

柔らかく、安定した、表面に汚れがなく、けばだっていない表面、つまりテーブルにきれいな布を置いたようなところにガラスを載せます。それから、汚れがなく、けばだっていない、柔らかな布でガラスを清掃します。



クリーニング液を直接ガラスに付けることは、おやめください。代わりに布に少量のクリーニング液を含ませるか吹きかけてください。

ガラスの清掃は円を描くようにして軽く布でガラスを拭きます。指紋や汚れが完全に取れたことを確認してから、ガラスを裏返し同じ作業を繰り返します。

清掃が完了したならば、プロンプターフードにガラスを取付けます。取付けるときには、布で覆われた端以外は、決して持たないようにしてください。**ガラスの緑色のシールがタブレット側に、反対に赤色のシールはレンズ側に向いていることを確認してください。**

必要に応じて、カメラフードを取付けなおすか、固定しなおしてください。

リモコン(『WR-500』ワイヤレス・ワイヤード兼用)の操作方法

TP-600-BRC MK2 のタブレット用のリモコンは下記の物が同梱されています。

- ・『WR-500』Bluetooth™ ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン(iPad®、Android™ タブレット共用)
- ・首掛け用ストラップ
- ・ワイヤード用ケーブル 3m

※)リモコン本体を分解・改造はしないでください。保証の対象外となります。

接続と操作



- ①充電及び表示用 LED ライト
- ②首掛け用ストラップ取付ソケット

+ スクロール 加速 : 文字のスクロール速度が加速します。

- スクロール 減速 : 文字のスクロール速度が減速します。

※リモコンを使用するときのスクロール速度は 5 が最適です。

◀◀ ブレークマーカー 前方 : スクロールを停止させた後、原稿の前方へジャンプさせるときに使用します。

▶▶ ブレークマーカー 後方 : スクロールを停止させた後、原稿の後方へジャンプさせるときに使用します。

※ブレークマーカーを使用する場合、あらかじめ、設定しておいた Break Markers を原稿に付けておく必要があります。

▶|| 再生 / 一時停止 : スクロールの開始/一時停止をします。もう一度スクロールさせるには再度、このボタンを押してください。

首掛け用ストラップを②に取り付けた様子



ご利用方法

本体にはボタン電池(CR2032)が内蔵されています。

また電池が切れた際はユーザー自身で電池を交換することが可能です。



カバーを外して
表面(+)を上に向けて差し込む

※手袋等を使用して作業を行ってください

指紋を付けると錆びが発生して不具合の原因になります。

※電源は本体が 5 分無操作状態が続くと自動的に切れます。

『WR-500』 ワイヤードモード(有線)で使用 (赤色ランプ点灯)

出荷時、本体はワイヤード(有線)モードに設定されています。必要に応じてワイヤレス(無線)モードに切り替えることが可能です。

ワイヤードモードで使用する場合は、本体を付属のワイヤード用ケーブルで使用するスマートフォンまたはタブレットに接続する必要があります。

ジャックプラグコネクタはタブレット端末のミニジャックソケットに適合します。

※)ワイヤードモードで使用する場合は、dv Prompter アプリの Settings - Remote Type で“Wired - WR-500”に設定してください。

ワイヤレスモードからワイヤードモードに戻す場合、再生/停止ボタンを緑の LED が点灯するまで長押ししてください。

再生/停止ボタンを離し、もう一度いずれかのボタンを押したときに赤の LED が点灯すると、ワイヤードモードに切り替わっています



『WR-500』 ワイヤレスモード(Bluetooth™)で使用 (緑色ランプ点灯)

※) 一般的な Bluetooth デバイスとはペアリング方法が異なりますのでご注意ください。
iOS の場合、【設定- Bluetooth】画面からのペアリングは不要です。

ワイヤレスモードに切り替えるには、以下の手順を行います。

1. 再生/停止ボタンを緑の LED が点灯するまで長押し、離します。
離した後、緑の LED が点滅します。
2. タブレットで dv Prompter アプリを起動し、
Settings - Remote Type で「Bluetooth - WR-500」を選択します。

ENG CAMERA & FREESTANDING TELEPROMPTER KIT
TP-650 MKII
19

3. dv Prompter アプリで Scripts から原稿を再生します。
リモコンが使用可能になっている事をご確認ください。
(ボタンを押したときに緑の LED が点灯します)



※)現在使用しているモードがワイヤレスかワイヤードかわからなくなった場合、
いずれかのボタンを押したときに点灯する LED の色を確認してください。
赤の LED が点灯した場合はワイヤードモード、緑の LED が点灯した場合はワイヤレスモードです。

アプリケーションソフトウェアをダウンロードする

dv Prompter を下記のどちらかの方法でダウンロードしてください。

*無料でダウンロードできます。



App StoreSM からアプリケーションソフトウェアをダウンロードする

- PC でダウンロードしたものを iPad[®] に同期する。
 - iPad[®] に直接ダウンロードする。
- * インターネット、または、ワイヤレス通信に接続していることを確認してください。

<iPad[®] に直接ダウンロードする場合>



ソフトウェアをダウンロードするときは、ホームスクリーンの App StoreSM アイコン をタップしてください。iPad[®]用のソフトウェアをストアでブラウズするか、もしくは、スクリーン上部、または、下部の検索バーをタップし、**datavideo** または、**dv Prompter** と入力してください。検索アイコンを右にタップすると、検索が実行されます。検索結果のリストにソフトウェアが表示されるので、フリーアイコンをタップし、インストールします。

App StoreSM



インストールされているソフトウェアのアップデートが有効になると App StoreSM アイコンの表示が変わります。タップするとソフトウェアのアップデートが実行され、**dv Prompter** のようなお気に入りのソフトウェアは常に最新バージョンになります。

Google Play Stor からアプリケーションソフトウェアをダウンロードする

- タブレットに直接ダウンロードする。
- * インターネット、または、ワイヤレス通信に接続していることを確認してください。



ソフトウェアをダウンロードするときは、ホームスクリーンの Google Play ストアTMアイコン をタップしてください。AndroidTM用のアプリをストアでブラウズするか、もしくは、スクリーン上部、または、下部の検索バーをタップし、**datavideo** または、**dv Prompter** と入力してください。検索アイコンを右にタップすると、検索が実行されます。検索結果のリストにソフトウェアが表示されるので、フリー アイコンをタップし、インストールします。

Google PlayTM



* 現在 Windows タブレット/スマートフォン向けのアプリはありません。

タブレット機器設定

1. タブレットで長時間操作をしないときは、原稿のスクロール等が途中で中断しないように、オートロック/オートスリープの機能を OFF に変更してください。
2. 1 項と同じようにご使用を始める前に携帯電話、SMS、アラーム、および E メール機能も OFF にしてご使用いただくことをお勧めします。

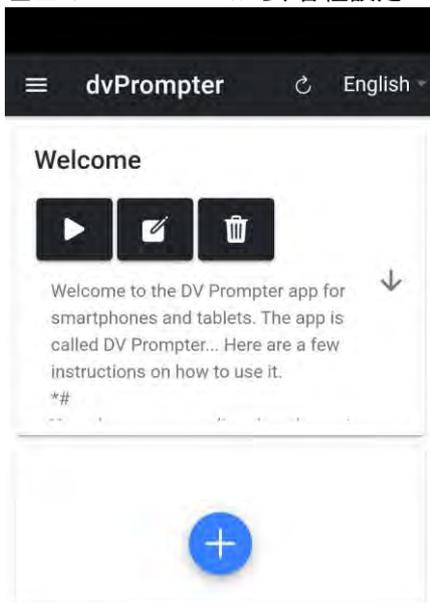
* ご使用時にはタブレットのバッテリーが十分充電されている事をご確認下さい。

* アンドロイドの場合、端末が HID ドライバーか Bluetooth キーボードに対応しているか確認してください。

また、ワイヤードモードを使用する場合、ジャックソケットが Microphone 入力に対応しているか確認してください。

アプリケーションソフト dv Prompter の設定

アプリを起動すると、以下のような画面が表示されます。
左上のメニューバーから、各種設定メニューにアクセスできます。



デバイス上で作成

デバイス上で新しい原稿を作成するには、「+」ボタンをタップまたはクリックして「テキスト」オプションを選択し、タイトルを入力してから、リッチテキストエディタにスクリプト本文を入力するだけです。原稿は、リッチテキストエディタをタップまたは青い「X」をクリックして閉じると、自動的に保存されます。

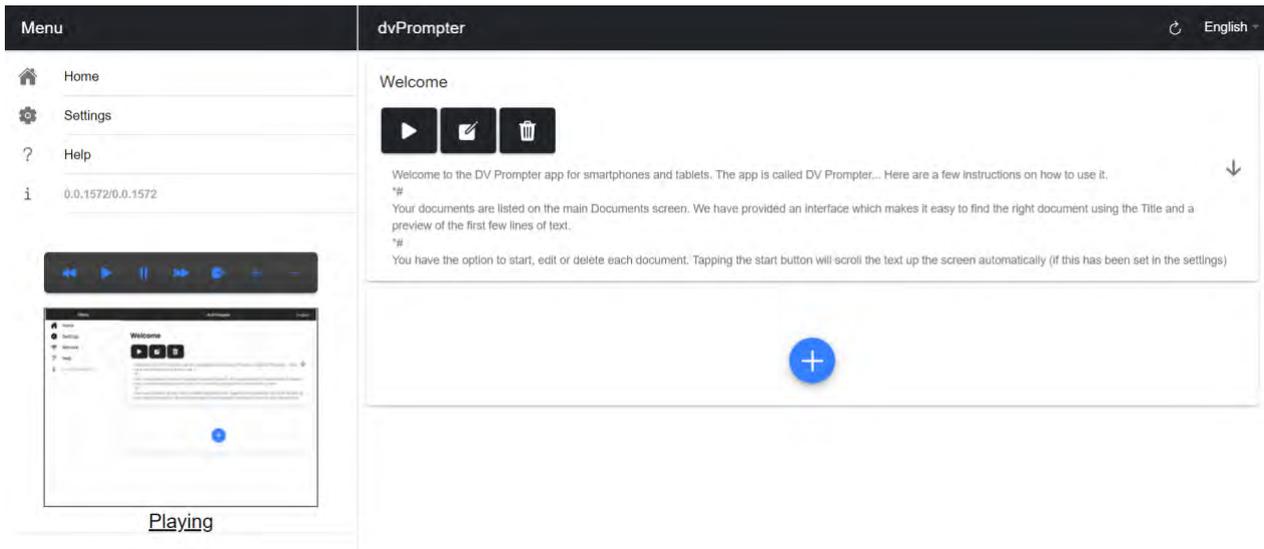
※スライドはデバイス上では作成できず、Web インターフェース経由のみです。

デバイス上で原稿を編集するには、「Edit」ボタンをタップまたはクリックするだけです。

注意：メイン設定メニューで設定されたデフォルトは、エディタ内でスクリプトごとに上書きすることができます。



Web アプリケーション上で作成



テキストスクリプト

デバイス上で新しいテキスト原稿を作成するには、「+」ボタンをクリックして「Text」オプションを選択し、タイトルを入力し、リッチテキストエディタに原稿の本文を入力します。原稿は、「X」をクリックしてリッチテキストエディタを閉じると、自動的に保存されます。

デバイス上で原稿を編集するには、「Edit」ボタンをクリックしてください。

スライド

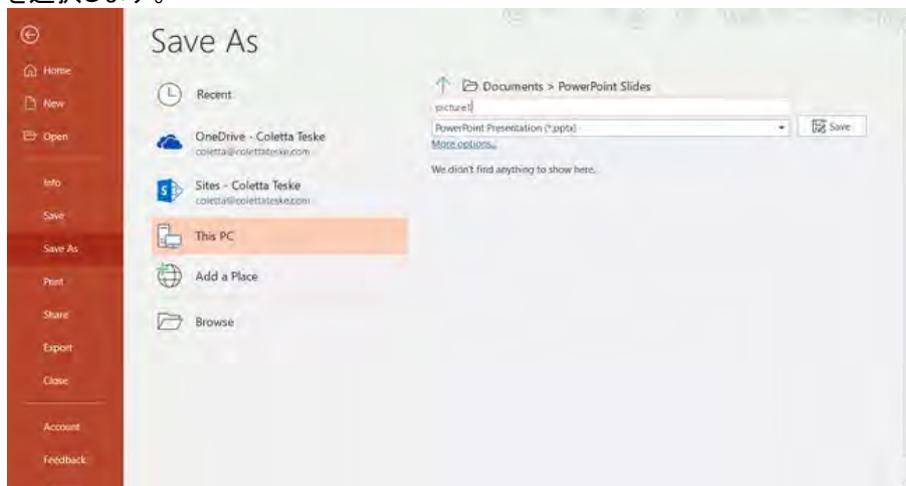
dvPrompter Plus は、テキストベースの原稿とスライドをシームレスに切り替えることができ、スライドとテキストベースの原稿をプレイリストに追加することができます。

dvPrompter Plus はスライドのリアルタイムミラーリングに対応しており、ミラーガラス越しに見てもコンテンツは正しく表示されます。

注意: スライドモードでは、スライドを画像として取り込むことができますので、PowerPoint や Keynote からは、まずスライドを画像としてエクスポートする必要があります。

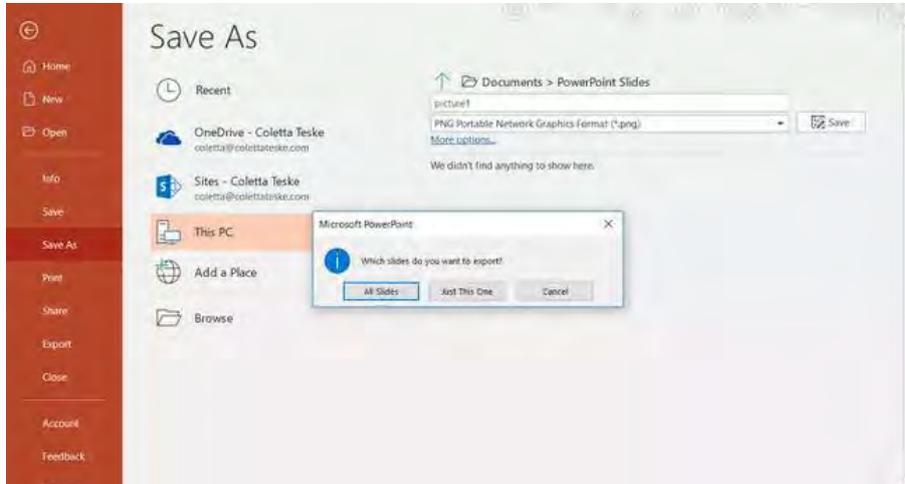
PowerPoint からスライドをエクスポートする

- ① スライドを変換する前に、PPTX または PPT 形式に PowerPoint プレゼンテーションを保存します。
- ② 画像として保存したいスライドを選択します。すべてのスライドを画像に変換したい場合は、任意のスライドを選択します。
- ③ 「File」→「Save As (名前を付けて保存)」を選択する。Mac 版 PowerPoint では、「File」→「Export (書き出し)」を選択します。



- ④ ファイルの保存場所を選び、画像ファイルの名前を入力します。

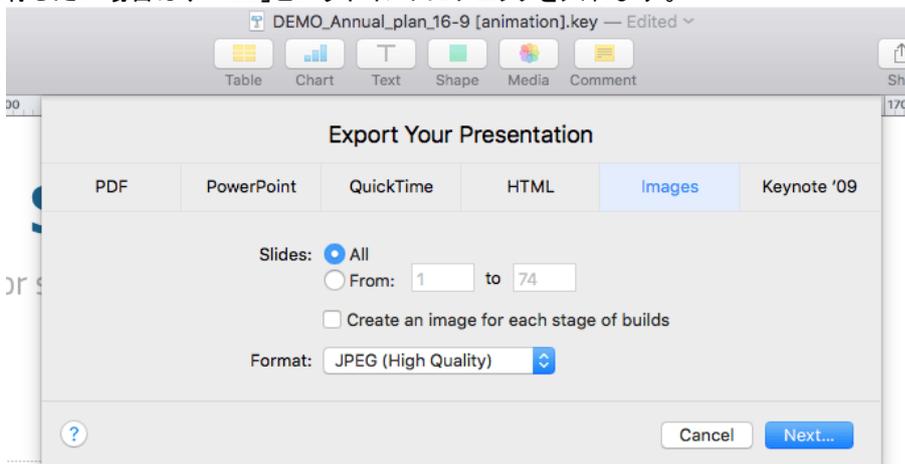
- ⑤ 「Save As」の下矢印を選択すると、ファイル形式のリストが表示されます。デフォルトでは、PowerPoint Presentation (*.pptx) がテキストボックス内に表示されます。Mac の場合は、「File Format」横のメニューを選択します。
- ⑥ プレゼンテーションを保存する画像形式を選択します。JPEG を選択します。
- ⑦ 「Save (保存)」を選択します。Mac 版 PowerPoint では、「Save Every Slide (すべてのスライドを保存)」または「Save Current Slide Only (現在のスライドのみを保存)」のいずれかを選択し、「Export」を選択します。
- ⑧ 「All Slides (すべてのスライド)」または「Just This One (このスライドだけ)」のいずれかを選択します。



- ⑨ スライドが選択したファイル形式で保存されます。
- ※複数の PowerPoint スライドを個別の画像ファイルに変換した場合、保存先フォルダに新しいフォルダが作成されます。この新しいフォルダは、プレゼンテーションと同じ名前を使用します。PowerPoint ファイルを保存していない場合、エクスポートされたスライドフォルダ Presentation1 などのデフォルト名でフォルダに保存されます。

Keynote から原稿を書き出す

- ① 原稿を画像に変換する前に、必ずプレゼンテーションを保存してください。
- ② トップメニューで「File (ファイル)」>「Export to (エクスポート先)」>「Images (画像)」を選択します。
- ③ 「JPEG (高画質)」形式を選択し、画像として保存したいスライドの範囲を指定します。すべてのスライドを保存したい場合は、「ALL」というポイントにチェックを入れます。



- ④ 「Next (次へ)」をクリックします。
- ⑤ 開いたウィンドウで、画像を保存するフォルダを選択します。スライドのデフォルト名を設定します。エクスポートの際に、KeyNote はこの名前にシーケンス番号を自動的に追加します。

スライドの取り込み

- ①「+」をクリックし、「Slides(スライド)」オプションを選択します。
- ②タイトルを入力します。ここでは「My Slides」を使用しました。

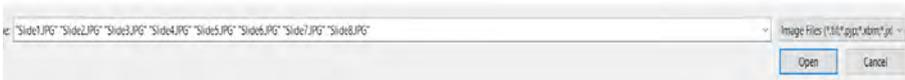


- ③複数のスライドをインポートするには、ボタン 2 をクリックします。ボタン 1 は、既存のスライドデッキに 1 枚のスライドを追加するために使用することができます。



1 2

- ④インポートしたいスライドをすべて選択します (CTRL+A で全選択できます)。



- ⑤スライドはアルファベット順に取り込まれますが、各スライドの横にある青いゴミ箱のアイコンをクリックすると、個々のスライドを削除することができます。



⑥デバイスの「高さ」または「幅」に画像を合わせることができます。スライドとデバイスの画面のアスペクト比に基づいて、スライドの伸縮を避けるオプションを選択します。

⑦スライドは、「X」をクリックしてエディタを閉じると自動的に保存されます。また、エディタの右上隅にある青い保存ボタンを使用して変更を保存することもできます。

デバイス上でスライドを編集するには、「Edit」をクリックするだけで、スライドは自動的に保存されます。

デバイス上でスライドを編集するには、「編集」ボタンをタップまたはクリックするだけで、リッチテキストエディタをタップまたは「X」をクリックして閉じると、スライドが自動的に保存されます。

リアルタイム編集(Datavideo 以外のハードウェアは、アプリ内課金が必要です。)

リアルタイム編集は、現在画面上にあるスクリプトを変更することができます。ウェブインターフェースを介してスクリプトを変更し、変更を保存すると同時に、リアルタイムで更新されます。

注意: スクロール中のテキストは、変更内容が読み込まれる間、一時的に停止します。

プレイリスト

(Datavideo 社製以外のハードウェアでは、アプリ内課金が必要です。)

プレイリストに原稿を追加する

Web インターフェース経由で原稿を作成または編集する際に「In Playlist」オプションをチェックすると、アプリはリスト内の次の原稿を自動的にロードします。また、ハードウェアリモートコントロールを使用して原稿をすばやく進めることも可能です(詳細は、本書のコントロールセクションを参照してください)。



プレイリストの順番を変更する

プレイリストの実行順序を変更するには、原稿名の右側にある横棒をクリックし、希望の位置までドラッグするだけです。

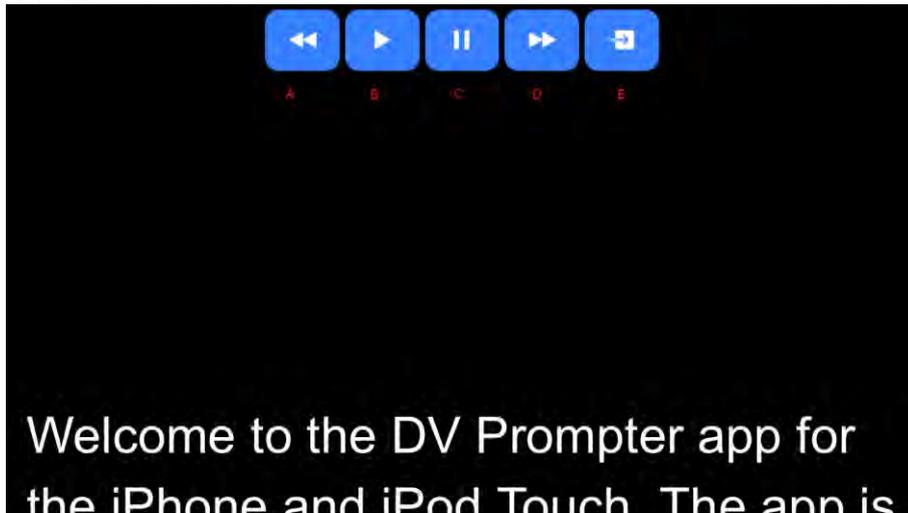
Test Script ≡

Welcome ≡

コントロール

本体経由(画面の表示)

原稿を読みながら、画面をクリックすると、以下のようなメニューバーが表示されます。



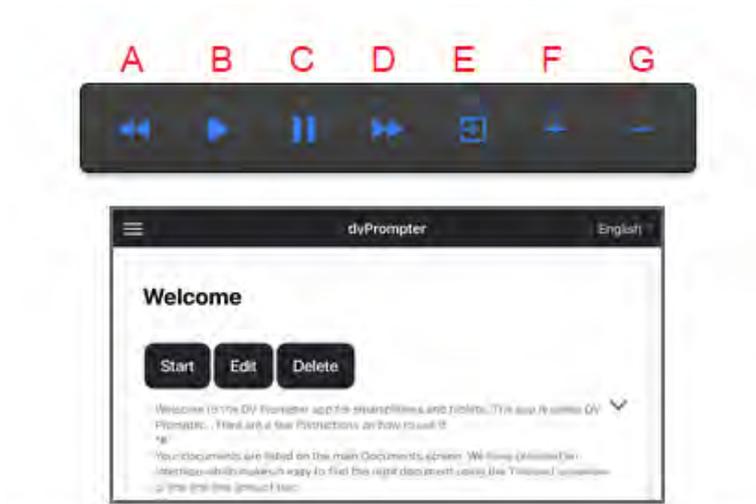
- A: スクロール時に文字サイズを小さくする / 一時停止時にプレイリストの前の原稿に進む
- B: スクロール開始/一時停止
- C: スクロール開始/一時停止
- D: スクロール時に文字サイズを大きくする / 一時停止時にプレイリスト内の次の原稿に進む
- E: 原稿の削除とドキュメント画面へ戻る

ウェブインターフェースを介して

(Datavideo 以外のハードウェアではアプリ内課金が必要です)

このガイドの「Network」項目を参照して、アプリのリモートコントロール・ウェブインターフェースにアクセスする方法を理解してください。

ネットワーク制御のインターフェイスは以下のとおりです。



- A: 文字原稿: スクロール時のテキストサイズを縮小 / 一時停止時にプレイリストの前の原稿に移動
- B: 文字原稿: スクロールの開始 / 一時停止
- C: 文字原稿: スクロールの開始 / 一時停止
- D: 文字原稿: スクロール時テキストサイズを大きくする / 一時停止時にプレイリスト内の次の原稿に進む
- E: 文字原稿: 原稿の削除とドキュメント画面へ戻る
- F: 文字原稿: スクロール時速度を上げる / 一時停止時に前のブレイクマーカーに進む
スライド: 次のスライドへ
- G: 文字原稿: スクロール時の速度を落とす / 一時停止時に次のブレイクマーカーに進む
スライド: 前のスライドへ

キーボードショートカット

キーボードショートカットは、上記のボタン(A~G)のいずれかに割り当てることができます。キーボードショートカットを有効にするには、まずウェブインターフェースの「Settings(設定)」メニューから「Enable Hotkeys(ホットキーを有効にする)」のオプションを有効にします。デフォルトのショートカットは以下のとおりです。

ショートカットを変更するには、マウスで割り当てたいボタンを左クリックし、割り当てたいキーの組み合わせを押すだけです。

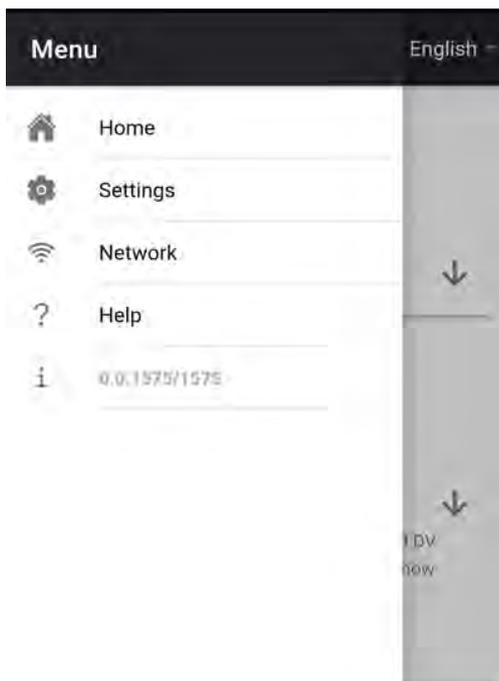
(注意)システム機能に割り当てられている、または編集時に使用されるキーの組み合わせを割り当てないように注意してください。



メニューバー

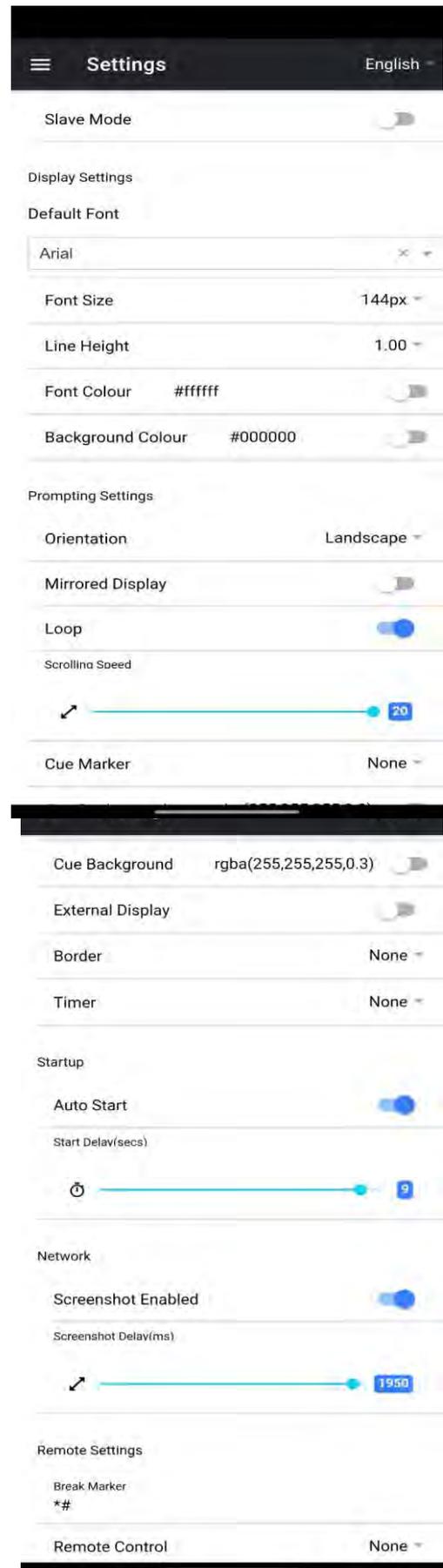
メニューバーをクリックすると、以下のような3項目のメニューが表示されます。

- ・「Home」ホーム - ドキュメント画面に戻ります。
- ・「Settings」設定 - すべてのアプリの設定を表示します。
- ・「Network」ネットワーク - ローカル Wi-Fi またはイーサネットネットワークまたはイーサネットを介して Web ブラウザを任意のデバイスからアプリにアクセスするために必要なアドレスが表示されます。
- ・「Help」ヘルプ - dvPrompter Plus の QSG に直接リンクします。
- ・「i」 - dvPrompter Plus アプリのバージョンが表示されます。



設定

- ・スレーブモード: このモードを有効にすると、デバイスは他の dvPrompter アプリのスレーブ画面として作動します。詳細については、「複数のデバイスを同期する」項目を参照ください。
- ・デフォルトフォント: エディターで使用するデフォルトのフォントを選択します(原稿ごとに上書きできます)。
- ・フォントサイズ: デフォルトのフォントサイズを設定します。これは、エディタ内でフォントサイズが設定されていないすべてのテキストに適用されます。
- ・行の高さ: スクロールする際の行間を設定します。1 以下の値ではテキストが重なってしまう可能性があります。
- ・フォントカラー: デフォルトのフォントカラーを設定します(エディター原稿ごとに上書きが可能)。
- ・背景色: 背景の色を設定します。
- ・向き: デバイスの向きを「横」または「縦」に選択します。
- ・ミラーリング表示: デバイスから直接テキストを読む場合は「オフ」に設定し、ミラー経由でテキストを読む場合は「オン」に設定します。
- ・ループ: 「オン」に設定すると、原稿が終了しても継続的にループします(プレイリストが使用されていないときのみ有効)。
- ・スクロール速度: テキストがスクロールを開始する速度を設定します。
- ・キュー マーカー: オプションでキューマーカーを選択し、読み手が読むべきテキストの行をマーカーします。
- ・キューの背景: キューマーカーの背景色を設定します(シンプルまたは複合キューマーカーを使用する場合のみ有効)。
- ・外部ディスプレイ: 無効にすると、HDMI またはワイヤレスで接続されたセカンドディスプレイはメインディスプレイをミラーリングします。有効にすると、テキストはセカンドディスプレイ上でのみスクロールします。
- ・ボーダー: テキストがモニターやビームスプリッターガラスの端に近すぎる場合に便利です。
- ・タイマー: テキストが画面上でスクロールしている時間を示す時間を表示します。タイマーは新しい原稿がロードされるとリセットされ、原稿が一時停止されると一時停止します。
- ・自動開始: 「オン」に設定すると、原稿は自動的にスクロールを開始します。「オフ」に設定すると、画面上のメニュー、ハードウェア、またはネットワークリモートコントロールを使用して原稿を開始する必要があります。
- ・開始遅延: 開始コマンドを発行してからテキストがスクロールを開始するまでの遅延時間(秒)をオプションで設定できます(手動開始と自動開始で機能します)。
- ・スクリーンショットを有効にする: ウェブインターフェースを介したりリモートモニタリングに使用されるスクリーンショットを有効または無効にします。
- ・スクリーンショットディレイ(ms): スクリーンショットが撮影され、リモートモニタリングのためにネットワークウェブインターフェースに送信される時間をミリ秒で指定します。値を低くすると遅延は少なくなりますが、CPU とネットワークの使用率が高くなります。値を低くすると、遅延は少なくなりますが、CPU とネットワークの使用率が高くなります。値を低くすると、より高速なハードウェアが必要になります。
- ・ブレイクマーカー: スクロールしたテキストの区切りを示す*#などのテキスト文字を設定することもできます。このマーカーを使用すると、ハードウェアやネットワークのリモートコントロールを使用して、制作の実行順序が変わった場合に、テキスト内のポイント間をすばやく前方または後方に進むことができます。



・リモートコントロール: オプションの Datavideo WR-500 コントローラを使用して、スクリプトを制御することができます。Bluetooth または有線モードを選択してください。

・ウェブインターフェースアクセス: ウェブインターフェースアクセスを購入すると、以下の機能を利用できます。

■ローカルネットワーク上でスクリプトの作成、編集、管理を無制限に行うことができます。

■HTML5 互換のウェブブラウザを持つ任意のデバイスを使用して、ローカルネットワーク上でプロンプターを制御します。

■リアルタイムスクリプト編集 (使用中のスクリプトを編集可能)

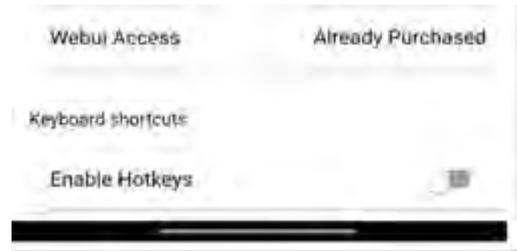
■プレイリスト対応

■ローカルネットワーク上でスクリプトのロード、リロード、制御

■マスター/スレブモードにより、WiFi またはイーサネットネットワーク上で 2 台目のデバイスをスレブ画面として使用可能

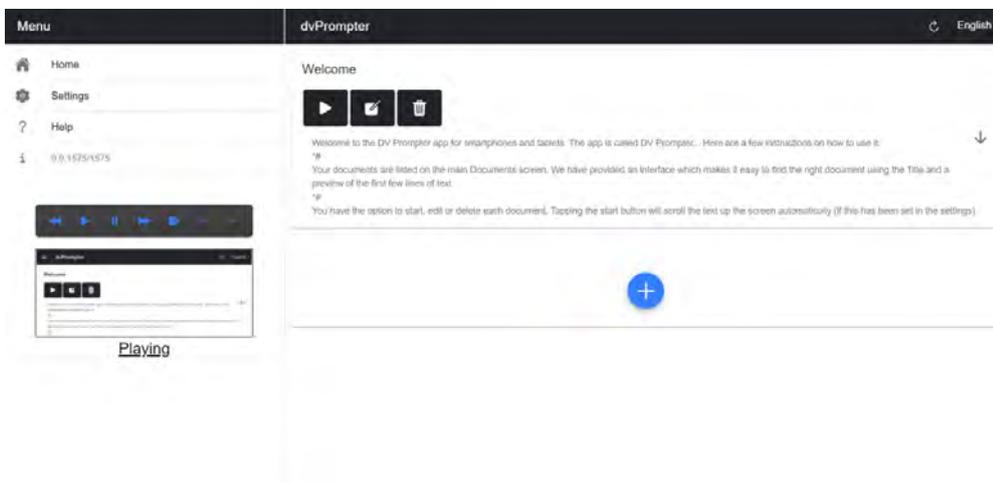
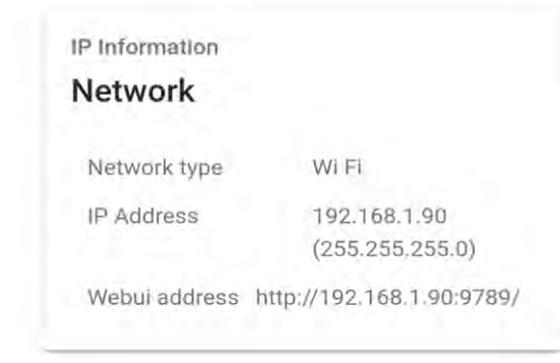
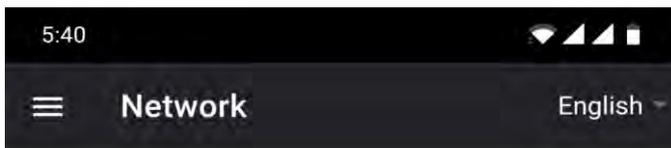
・注意: Datavideo ハードウェアでは、Web インターフェースはデフォルトでロック解除されます。

・ホットキーを有効にする: コントロールボタンにキーボードショートカットを割り当てることができます。このオプションは、Web インターフェイスでのみ設定できます。



ネットワーク

ご使用の機器が Wi-Fi またはイーサネットネットワークに接続されている場合、同じネットワーク上の他の機器の Web ブラウザに Web インターフェースのアドレスを入力するだけで、ネットワーク経由でアプリを自在にコントロールすることができます。



複数のデバイスの同期

(Datavideo 以外のハードウェアではアプリ内課金が必要です)

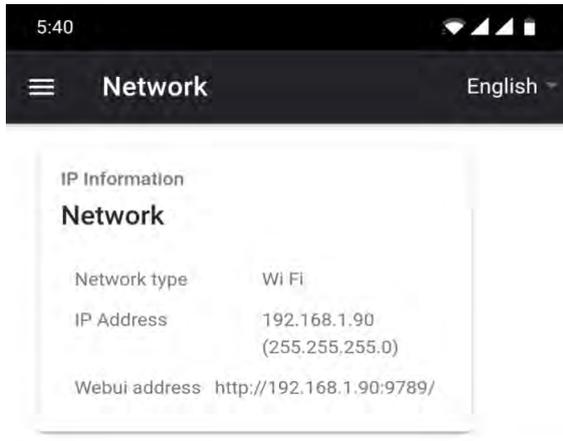
WiFi または Ethernet ネットワークを介して、2 台以上のデバイスでスクロールするテキストやスライドを同期させることができる機能です。

必要条件

- ・マスターデバイスは、アプリ内課金によりウェブインターフェースをアンロックしている必要があります。
- ・同期を行うためには、すべてのデバイスが同一である必要があります(画面の高さが同一のデバイスでも動作する場合がありますが、保証はできません)。
- ・スレーブデバイスはマスターデバイスに負荷をかけますので、接続可能なスレーブデバイスの台数は、接続するデバイスの種類によって異なります。
- ・すべてのスレーブ機器は、マスター機器と同じローカルネットワークに接続されている必要があります。

セットアップ手順

1. ネットワークメニューに移動し、マスターデバイスの IP アドレスを取得する



2. スレーブデバイスの設定メニューを開き、スレーブモードを有効にして、マスターの IP アドレスを入力する。

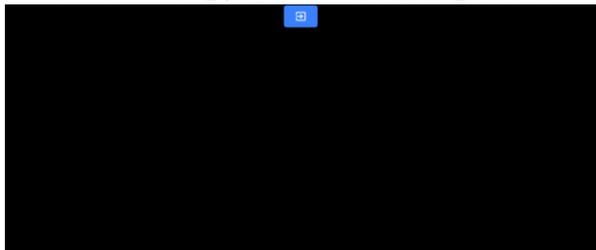


3. メニューバーのホームをタップまたはクリックすると、スレーブがマスターとの接続を構築中に、以下の画面が表示されます。



Waiting for master...

4. 接続すると、画面が白から黒に変わり、スレーブはマスターをミラーリングするようになります。
5. スレーブモードを終了するには、画面をタップまたはクリックし、青色の終了ボタンを押します。



外部ディスプレイの接続について

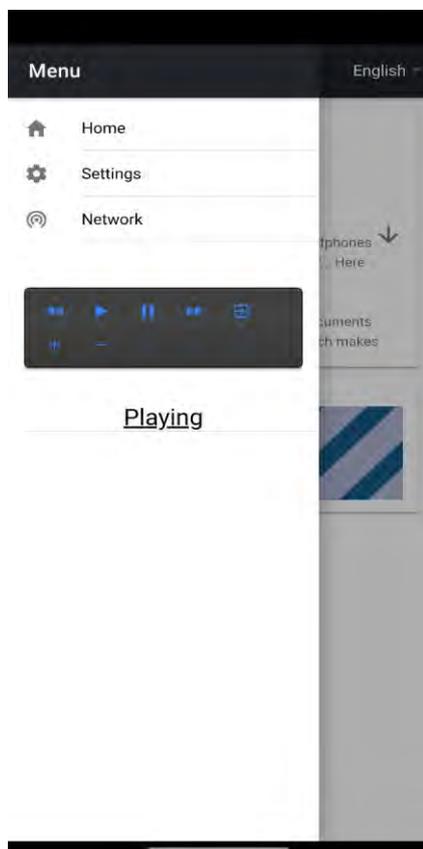
外部ディスプレイは、HDMI(お使いのデバイスに適した HDMI アダプターを使用)または Airplay や Mirror-cast などのワイヤレススクリーンミラーリングを使用して接続することができます。

外部ディスプレイの設定を無効にする

このモードでは、外部ディスプレイはデバイスの画面をミラーリングします。

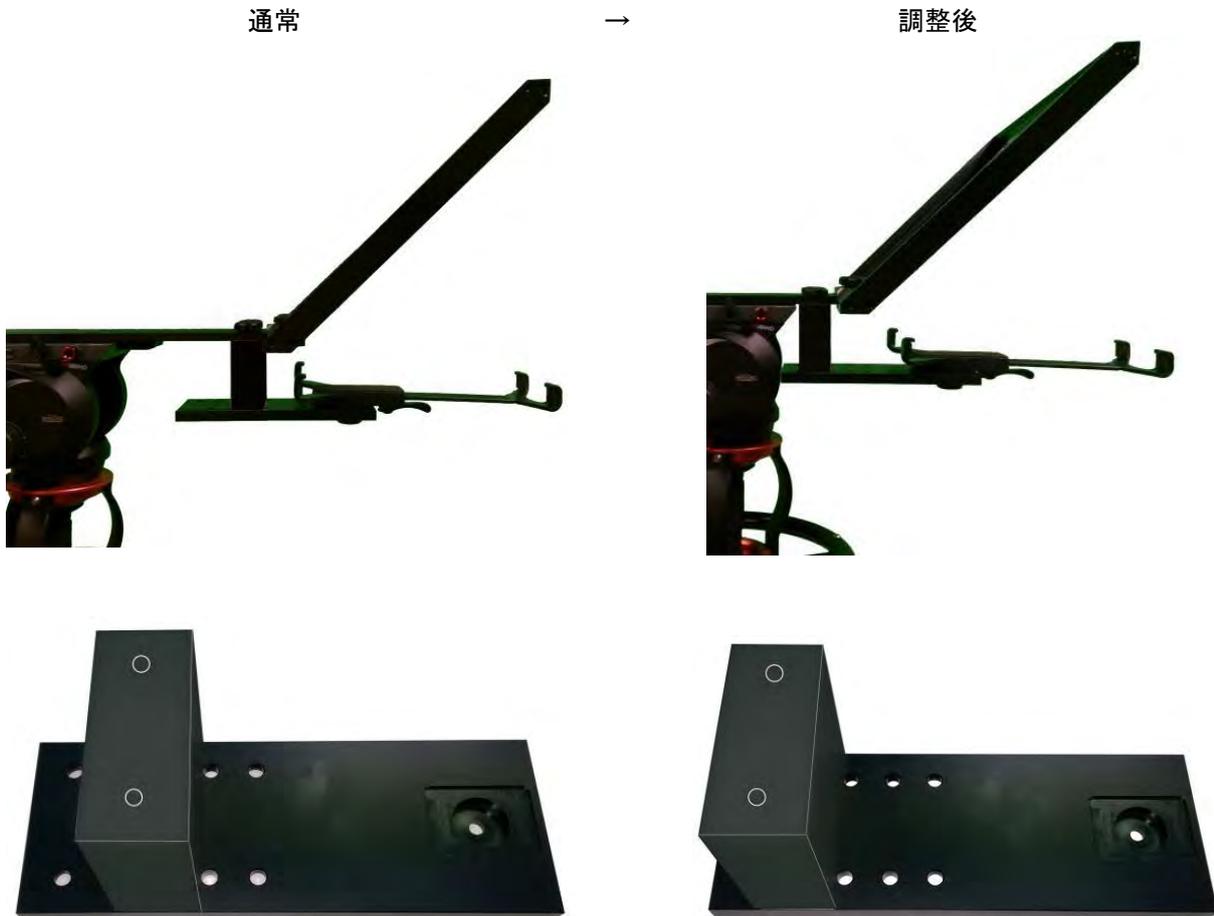
外部ディスプレイの設定を有効にする

このモードでは、外部ディスプレイではテキストのみがスクロールし、デバイスの画面はスクリプトの制御と編集に使用されます。スクリプト制御オプションは、以下のようにメニューバーからアクセスできます。



アジャスタブルタブレットホルダーレール-アイテム B

このキットのアイテム B には、逆ネジの六角頭ネジが 2 つ付いています。これらのネジを取り外すと、水平レールを移動させ、別の穴を使って垂直ブロックに再固定することができます。これにより、タブレットホルダーの位置が変わり、70/30 ミラーガラスに文字が映し出される位置が変わります。このようにして、好みのタブレットに反射する読み取り位置を(上下に)調整することができます。



よくある質問

Q: リモコン (WR-500) が携帯電話やタブレットとペアリングできません。どうすればよいですか？

リモコンは完全に充電されていますか？もしそうなら、次に Bluetooth リモートのリセットを試してください。その後、デバイスとリモートのペアリングをもう一度試してみてください。まだ動作しませんか？タブレットまたは携帯電話の Bluetooth リストに既にある項目をクリアまたは削除してください。Apple iOS デバイスでは、以前に接続された各 Bluetooth アイテムの横に右矢印のアイコンがあります。矢印 (arrow) をタップして、削除 (remove) またはオプション消去 (forget option) を使用します。Android デバイスの場合は、設定アイコンが表示されますが、ほとんど同じように動作します。Android デバイスの場合、オプションはペアリング解除または削除になります。以前の Bluetooth 項目がすべてリストから削除されたら、デバイスと Bluetooth リモートのペアリングをもう一度試してください。販売店に連絡する前に、上記の手順を試してみてください。

Q: リモコン (WR-500) は Bluetooth 経由で私用タブレットデバイスとペアリングしましたが、DV Prompter Plus アプリを使用してもまだコントロールできません。どうすればよいですか？

DV Prompter Plus アプリの最新バージョンを使用していることを確認してください。疑わしい場合は、デバイスからアプリを削除し、App Store または Google Play から再度ダウンロードしてください。DV Prompter Plus アプリの設定も重要です。スクリプトのスクロールなどを制御する前に、リモートの設定を Bluetooth に変更する必要があります。サプライヤーに連絡する前に、上記の手順を試してみてください。

仕様

型番	TP-650-BRC MARK II
リモコン	『WR-500』 Bluetooth™ ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン (iPad®、Android™ タブレット共用/ワイヤード用ケーブル 3m 付き)
寸法 / 質量	【プロンプターサイズ(最大)】 415mm(幅) × 290mm(高さ) × 750mm(奥行) タブレットホルダー含まず 約 3.38kg 【拡張可能なマウントブラケット】 145mm(最小タブレット幅) 265mm(最大タブレット幅) ※HC-600 専用キャリングケース(付属品)の仕様は 3 ページをご参照ください。

※仕様は、予告なしに変わることがあります

サポート窓口

datavideo JAPAN

株式会社 M&Inext datavideo 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

MAIL: service@datavideo.jp URL: <http://www.datavideo.jp/>

datavideo は Datavideo Technologies Co., Ltd の登録商標です。

本書を権利者の許可なく配布、インターネットでの公開等を行うことは著作権法上禁止されております。

日本語訳・制作・著作 株式会社 M&Inext

2023 年 02 月 06 日改訂